

Dell Networking W-AP110 シリーズアクセスポイント

設置ガイド

Dell Networking W-AP110 シリーズ (W-AP114 および W-AP115) ワイヤレスアクセスポイント (AP) は、IEEE 802.11n 標準の高パフォーマンス WLAN をサポートします。これらは、高パフォーマンスを実現する MIMO (Multiple Input, Multiple Output) テクノロジおよびその他の高スループットモードテクノロジ、802.11n の 2.4 GHz または 5 GHz 機能を使用すると同時に、既存の 802.11a/b/g ワイヤレスサービスをサポートします。W-AP110 シリーズアクセスポイントは、Dell Networking W-Series モビリティコントローラとの組み合わせでのみ機能します。

W-AP110 シリーズアクセスポイントは、以下の機能を提供します。

- ワイヤレストランシーバ
- プロトコルに依存しないネットワーク機能
- IEEE 802.11a/b/g/n (ワイヤレスアクセスポイント)
- IEEE 802.11a/b/g/n (ワイヤレス空気モニター)
- IEEE 802.3at PoE+ および 802.3af PoE との互換性
- Dell コントローラを介した一元管理設定およびアップグレード

メモ: W-AP110 シリーズには Dell Networking W-Series ArubaOS 6.3.1.0 以降が必要です。

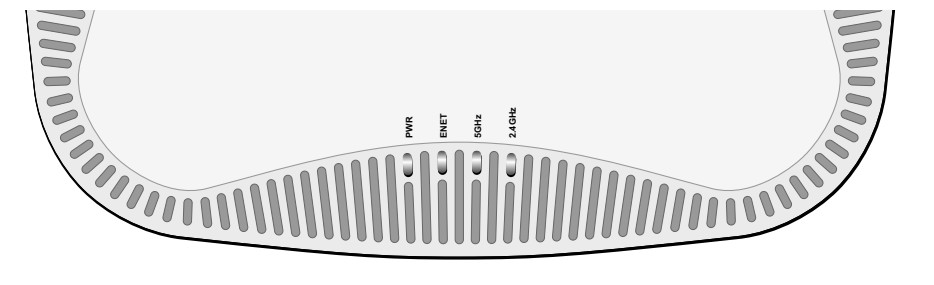
パッケージの内容

- W-AP114 または W-AP115 アクセスポイント
- 9/16" および 15/16" 天井レールアダプタ
- 設置ガイド (本書)

メモ: 内容が違っている場合、不足している場合、または破損している場合は、サプライヤに連絡してください。必要な場合は、元の梱包資材および箱を使用して (可能な場合) パッケージを梱包し、サプライヤに返送してください。

W-AP110 シリーズハードウェアの概要

図 1 W-AP110 シリーズの LED



LED

W-AP110 シリーズアクセスポイントには、AP のさまざまなコンポーネントのステータスを示す 4 つの LED があります。

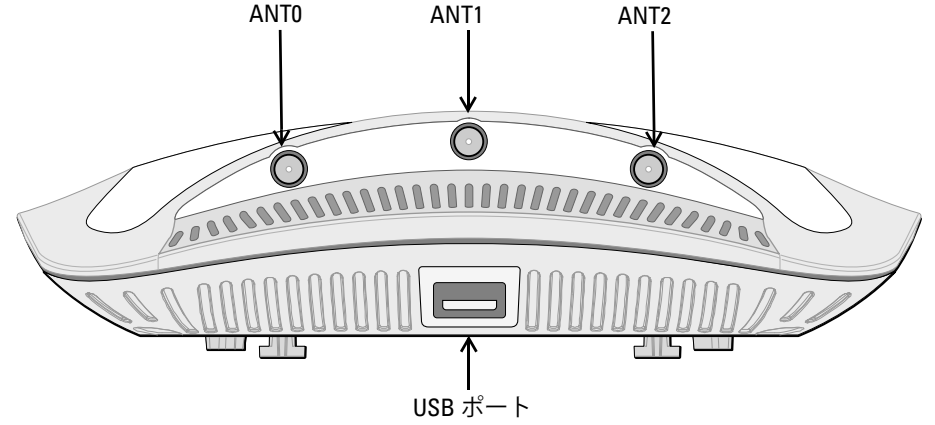
- PWR: AP に電源が投入されているかどうかを示します。
- ENET: イーサネット (ENET) ポートのステータスを示します。
- 5 GHz: 5 GHz (802.11a/n) ラジオのステータスを示します。
- 2.4 GHz: 2.4 GHz (802.11b/g/n) ラジオのステータスを示します。

表 1 LED の状態

LED	色/状態	意味
PWR	オフ	AP に電源が投入されていない
	赤	初期起動中
	緑・点滅	AP 起動中
	緑・点灯	AP 準備完了
ENET	オフ	イーサネットリンク使用不能
	黄色・点灯	10/100Mbps イーサネットリンク確立
	緑・点灯	1000Mbps イーサネットリンク確立
	点滅	イーサネットリンクアクティビティ
5GHz	オフ	5 GHz ラジオ無効
	黄色・点灯	5GHz ラジオが Non-HT WLAN モードで有効
	緑・点灯	5GHz ラジオが HT WLAN モードで有効
	緑・点滅	5 GHz 空気モニターまたはスペクトルモニター

LED	色/状態	意味
2.4 GHz	オフ	2.4 GHz ラジオ無効
	黄色・点灯	2.4GHz ラジオが Non-HT WLAN モードで有効
	緑・点灯	2.4GHz ラジオが HT WLAN モードで有効
	緑・点滅	2.4 GHz 空気モニターまたはスペクトルモニター

図 2 W-AP110 シリーズの側面 (図は W-AP114)



外付けアンテナコネクタ

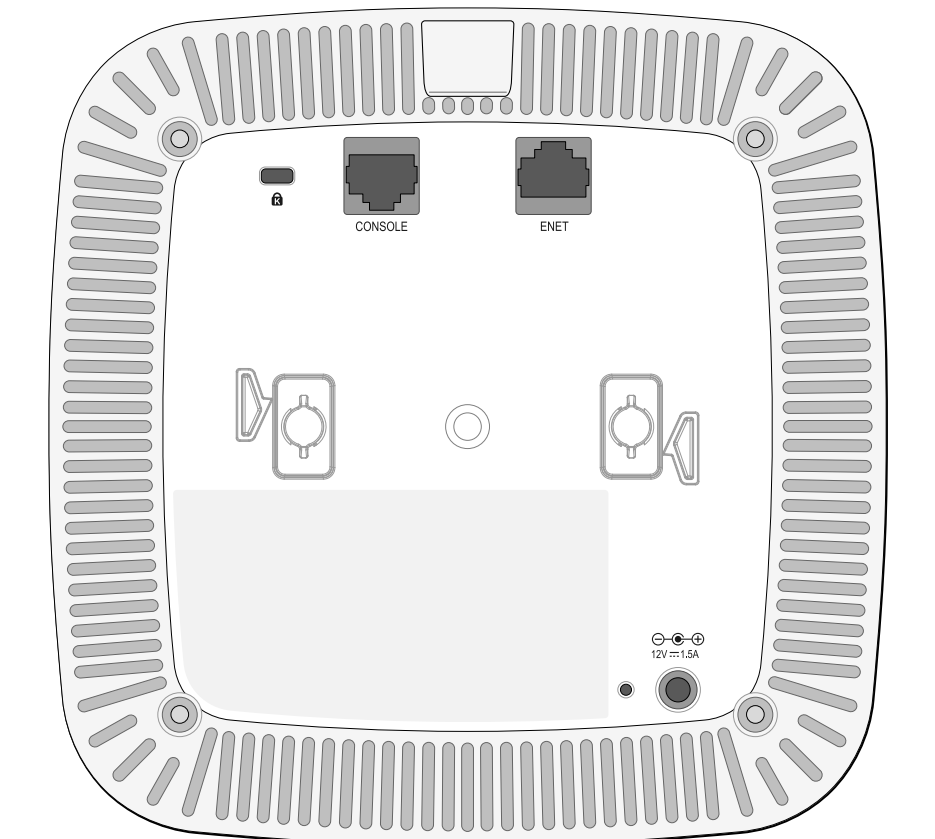
W-AP114 アクセスポイントには、外付けアンテナ用コネクタが 3 つ装備されています。コネクタには ANT0、ANT1、および ANT2 というラベルが付けられており、それぞれラジオチェーン 0、1、および 2 に対応しています。

USB インターフェイス

W-AP110 シリーズアクセスポイントには、セルラーモデム接続用の USB インターフェイスが装備されています。

メモ: W-AP110 シリーズアクセスポイントの電源が 802.3af PoE から供給されている場合、USB インターフェイスは無効になります。

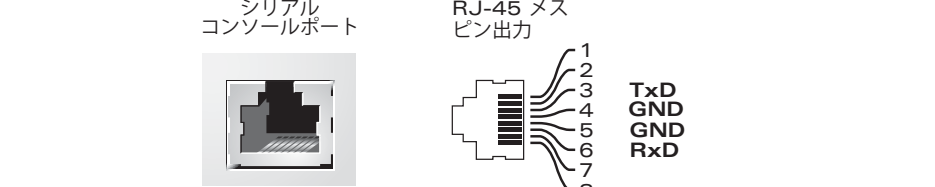
図 3 W-AP110 シリーズの背面



コンソールポート

シリアルコンソールポートを使用すると、W-AP110 シリーズアクセスポイント をシリアルターミナルまたはラップトップに接続して、直接ローカル接続を行うことができます。このポートは、図 4 に示すピン出力のある RJ-45 メスコネクタです。イーサネットケーブルを使用してターミナルまたはターミナルサーバーに直接接続します。

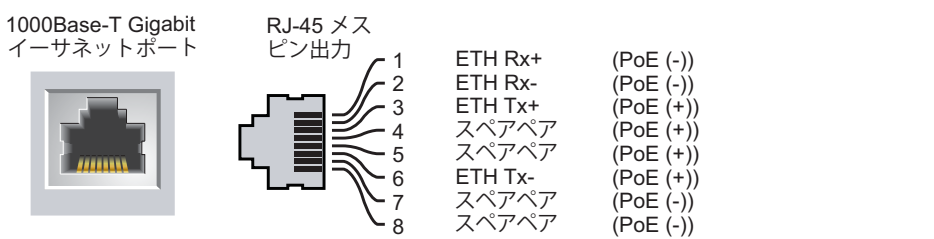
図 4 シリアルポートピン出力



イーサネットポート

W-AP110 シリーズアクセスポイントには、10/100/1000Base-T (RJ-45) 自動検出 MDI/MDX 有線ネットワーク接続ポートが 1 つ装備されています。このポートは、IEEE 802.3af および 802.3at Power over Ethernet (PoE) 準拠をサポートし、PoE Midspan インジェクタなどの給電装置 (PSE) または PoE をサポートするネットワークインターフェイスからの DC 48V (定格) を標準の定義済み Powered Device (PD) として受け入れます。ポートには、図 5 に示す RJ-45 メスコネクタがあります。

図 5 Gigabit イーサネットポートピン出力



DC 電源ソケット

PoE が使用できない場合、オプションの Dell AP AC-DC アダプタキット (別売り) を使用して W-AP110 シリーズアクセスポイントに給電できます。

これ以外に、ローカルで給電される AC-DC アダプタ (または任意の DC 電源) を使用して、このデバイスに給電することもできます。その場合、地域で適用されるすべての規制に準拠し、DC インターフェイスが以下の仕様を満たしている必要があります。

- DC 12 V (+/- 5%)/18W
- センタープラス 1.7/4.0 mm 丸プラグ、長さ 9.5 mm

リセットボタン

リセットボタンを使用すると、W-AP110 シリーズアクセスポイントを出荷時の設定に戻すことができます。AP をリセットするには、次の操作を行います。

- AP の電源をオフにします。
- クリップの先などの細くとがったものでリセットボタンを押したままにします。
- リセットボタンを押したまま AP の電源をオンにします。5 秒以内に電源 LED が点滅します。
- リセットボタンを放します。

リセットが完了すると、15 秒以内に電源 LED ボタンが再度点滅します。その後 AP が再起動して、出荷時の設定に戻ります。

始める前に

注意: FCC の声明: 米国以外のモデルのコントローラに設定されたアクセスポイントを米国内で設置すると、機器承認に関する FCC 規制に違反することになります。そのような意図的な違反を行った場合、運用の中断が FCC によって要求され、罰金が適用されることがあります (47 CFR 1.80)。

注意: EU の声明: 2.4 GHz および 5 GHz 帯域幅で運用する低電力無線 LAN 製品。制限の詳細については、『Dell Networking W-Series ArubaOS ユーザーガイド』を参照してください。

Produit réseau local radio basse puissance operant dans la bande fréquence 2.4 GHz et 5 GHz. Merci de vous référer au *Dell Networking W-Series ArubaOS User Guide* pour les détails des restrictions.

Low Power FunkLAN Produkt, das im 2.4 GHz und im 5 GHz Band arbeitet. Weitere Informationen bezüglich Einschränkungen finden Sie im *Dell Networking W-Series ArubaOS User Guide*.

Apparati Radio LAN a bassa Potenza, operanti a 2.4 GHz e 5 GHz. Fare riferimento alla *Dell Networking W-Series ArubaOS User Guide* per avere informazioni dettagliate sulle restrizioni.

設置前のネットワーク要件

WLAN の計画が完了し、適切な製品および設置場所を決定した後、Dell AP を展開する前に Dell コントローラをインストールして、初期設定を行う必要があります。

コントローラの初期設定については、『Dell Networking W-Series ArubaOS クイックスタートガイド』でご使用のコントローラにインストールされているソフトウェアバージョンを確認してください。

AP 設置前のチェックリスト

W-AP110 シリーズアクセスポイントを設置する前に、以下のコンポーネントが揃っていることを確認してください。

- 必要な長さの CAT5e 以上の UTP ケーブル
- 以下のいずれかの電源装置
 - IEEE 802.3at または 802.3af 対応の Power over Ethernet (PoE)。POE は、任意の給電装置 (PSE) コントローラまたは Midspan の PSE デバイス
 - Dell AP AC-DC アダプタキット (別売り)
- ネットワークでプロビジョニングされた Dell コントローラ
 - アクセスポイントへのレイヤ 2/3 ネットワーク接続
 - 以下のいずれかのネットワークサービス
 - Aruba Discovery Protocol (ADP)
 - “A” レコードのある DNS サーバー
 - ベンダ固有のオプションのある DHCP サーバー

セットアッププロセスのまとめ

W-AP110 シリーズアクセスポイントを正常にセットアップするには、5 つのタスクを完了する必要があります。これらのタスクは、次の順序で実行する必要があります。

- 設置前の接続を確認します。
- 各 AP の設置場所を特定します。
- 各 AP を設置します。
- 設置後の接続を確認します。
- 各 AP を設定します。

メモ: Dell は、政府の要求に基づき、権限のあるネットワーク管理者だけが設定を変更できるように W-AP110 シリーズアクセスポイントを設計しています。AP の設定の詳細については、『Dell Networking W-Series ArubaOS クイックスタートガイド』および『Dell Networking W-Series ArubaOS ユーザーガイド』を参照してください。

注意: アクセスポイントは無線伝送デバイスで、政府規制の対象となります。ネットワーク管理者は設定の責任を負い、アクセスポイントの運用は無線法の規制に準拠する必要があります。特に、アクセスポイントは、その使用場所に適したチャンネル割り当てを使用する必要があります。

設置前の接続の確認

W-AP110 シリーズアクセスポイントをネットワーク環境に設置する前に、電源を入れた後にコントローラの検出および接続が可能であることを確認してください。

特に、以下の条件を確認する必要があります。

- ネットワークに接続したときに各 AP に有効な IP アドレスが割り当てられること
- AP がコントローラを検出できること

コントローラの検出および接続の手順については、『Dell Networking W-Series ArubaOS クイックスタートガイド』を参照してください。

設置場所の特定

W-AP110 シリーズアクセスポイントは、壁または天井に取り付けることができます。Dell Airwave VisualRF Plan ソフトウェアアプリケーションによって生成される AP 設置マップを使用して、適切な設置場所を決定してください。各設置場所は目的の対象領域の中心に可能な限り近く、障害物や明白な干渉源のない場所である必要があります。これらの RF 吸収材/反射材/干渉源は RF プロパゲーションに影響するので、計画フェーズで考慮に入れ、RF 計画で調整する必要があります。

識別されていない既知の RF 吸収剤/反射材/干渉源

設置フェーズにおいて現場で既知の RF 吸収材、反射材、および干渉源を識別することが重要です。AP を設置場所に固定する際は、これらの要因を考慮に入れてください。RF パフォーマンスを低下させる原因には以下のものがあります。

- セメントやブロック
- 水分を含む物体
- 金属
- 電子レンジ
- コードレスの電話やヘッドホン

